令和６年度　第２回
みんなで支える森林づくり上田地域会議

資　　料

令和６年度地域会議・県民会議の振り返り　・・・・・・・・・・・3
令和７年度森林税活用事業の予算案(県全体)　・・・・・・・・・・13
上田地域の森林税活用事業実績及び計画
　1 再造林の加速化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
　2 市町村と連携した森林整備支援 ・・・・・・・・・・・・・・23
　3 県民協働による里山整備・利用（開かれた里山)・・・・・・・28
その他(令和6年度におけるＰＲ)・・・・・・・・・・・・・・・・33

令和７年(2025年)２月13日(木)
上田地域振興局林務課

本日の会議の流れ

①地域会議・県民会議の振り返り

②令和７年度の森林税活用事業予算案（県全体）

③上田地域の森林税活用事業実績見込及び計画案

1 再造林の加速化

2 市町村と連携した森林整備支援

3 県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）

④その他（令和６年度におけるＰＲ）

令和６年度　地域・県民会議の振り返り

令和６年度　第１回地域会議の結果

○県ホームページへの議事録掲載（右のとおり）

【アドレス】

https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/chiiki/r6.html

○林務部への要約版の提出（次頁以降）

令和6年度みんなで支える森林づくり地域会議

令和6年度会議開催状況

地域会議名	令和6年度開催状況		問合せ先
	第1回	第2回	
佐久地域会議	開催日：9月25日（水曜日）		佐久地域振興局 林務課 電話:0267-63-3152
上小地域会議	開催日：9月25日（火曜日）		上田地域振興局 林務課 電話:0268-25-7137
諏訪地域会議	開催日：9月20日（金曜日）		諏訪地域振興局 林務課 電話:0266-57-2919
上伊那地域会議	開催日：9月25日（水曜日）		上伊那地域振興局 林務課 電話:0265-76-6823
南信州地域会議	開催日：11月6日（水曜日）		南信州地域振興局 林務課 電話:0265-53-0423
木曽地域会議	開催日：8月27日（火曜日）		木曽地域振興局 林務課 電話:0264-25-2224
松本地域会議	開催日：12月2日（月曜日）		松本地域振興局 林務課 電話:0263-40-1926

令和６年度第１回地域会議　開催結果（意見等）【林務部に提出】

１　地域会議で挙げられた意見等

（１）地域または全県の課題として検討を要する事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解
【広報】 ショート動画とポスターは、県民が森林県民税を主体的に活用できることがわかるようなアプローチ・広報を考えた方がよい。	県本庁に伝えるとともに、当地域で今後どのように広報をするかの参考にさせて頂く。
【地域会議の位置付け】 地域会議でどのように提案すれば実現するのか、しくみがわかりにくい。	地域会議の結果を県本庁に伝えるとともに、地域会議の議事録が県民会議の資料として位置付けられている。 地域会議で頂いた意見の中で、各種補助金でできないものがあれば、森林税の制度の中に加えられるかどうかを県民会議で検討している。
【参加型の活動：開かれた里山】 税事業は「やってもらっている」と思いやすく、実感がわきにくいので、自分達で何ができるかを考えるために、県民、特に子供等の学びの場としての教育的な意義や、山のコミュニティの可能性をアピールするとよいのではないか。	現在の事業がさらに使いやすくなるよう県本庁へ伝える。 開かれた里山の事例集を県本庁で作成したので、このような活動をしているというヒントになると思われる。

令和６年度第１回地域会議　開催結果（意見等）【林務部に提出】

１　地域会議で挙げられた意見等

（１）地域または全県の課題として検討を要する事項

【参加型の活動：開かれた里山】 要領（の文章）ではなく、自分達がやっていることが対象になるのかや問い合せ先がわかるものを作って各自治会に周知すれば、広がりがでてくるのではないか。	予算の限りはあるが、周知の方法を今後相談したい。
【製材加工業の担い手対策】 人材難・担い手不足に関して、林業には緑の雇用事業があり、非常に手厚い施策が講じられているが、製材加工業には、支援メニューがない。 森林税を使って、製材加工業の人材確保及び育成支援をしてはどうか。 また、製材業の仕事内容を発信するため、ノウハウのある人とのマッチングをすることはできないか。	宿題とさせて頂く。 （県本庁に伝える。） 【朱書：今回会議用に追記】 その後、支援メニューがないことを確認し、林務部に対し同意見を口頭で伝達したところ、「今後の制度見直しに向けた意見として承った」とのこと。
【植栽、シカ対策】 苗木を植えた後どうなっているのかや、シカ等の食害対策にも目を向けて、事業を進めて頂きたい。	植えたすぐ後に下刈等の保育をして、その後は除伐・間伐等を行い、最終的に伐って使い、また植えるというサイクルを目指している。 シカの被害は、管内ではほとんどが農業被害。増えすぎたシカについては、森林税ではなく、狩猟者への補助金で駆除している。

令和６年度第１回地域会議　開催結果（意見等）【林務部に提出】

（２）県民会議事務局の見解を求められている事項

構成員からの意見	地域会議事務局の見解

（３）その他、構成員から挙げられた意見等

【皆伐後の災害防止】
　今まで予想していなかったような雨が降る可能性が高まっているので、皆伐により土砂崩れが起きないようにチェックしながら進めてほしい。

【森林税以外による対応】
　上田市では、森林環境譲与税により、今年度から自治会や団体の（森林）整備に上限30万円までの~~人件費を含む~~支援を行っている。

２　その他特筆事項（地域会議事務局の意見、構成員からの肯定的な意見等）

【参加型の活動：開かれた里山】
　他団体との連携がしやすくなるので、里山整備の地図（開かれた里山マップ）を評価する。

【現地視察（開かれた里山及びライフライン）】
　貴重な機会を頂き、面白い視察だった。

令和６年度　第１回県民会議の開催状況

１ 日時：第１回　令和6年9月5日（木）
２ 場所：長野市（林業センター）
３ 会議事項
(１)令和5年度森林づくり県民税活用事業の実施状況及び検証・評価
　県民税の基本方針
　Ｒ５年度実績（一覧表）
　Ｒ５年度実績（レポート）
　地域会議の開催状況（上田地域を含むＲ５第2回議事録等）
(２)令和6年度森林づくり県民税活用事業の進捗状況
　Ｒ６事業の内容及び目標／Ｒ６事業の進捗状況（７月末）
４ 公開状況
　・資料等・議事録：県ホームページで公開済み

【県ホームページアドレス】

https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html

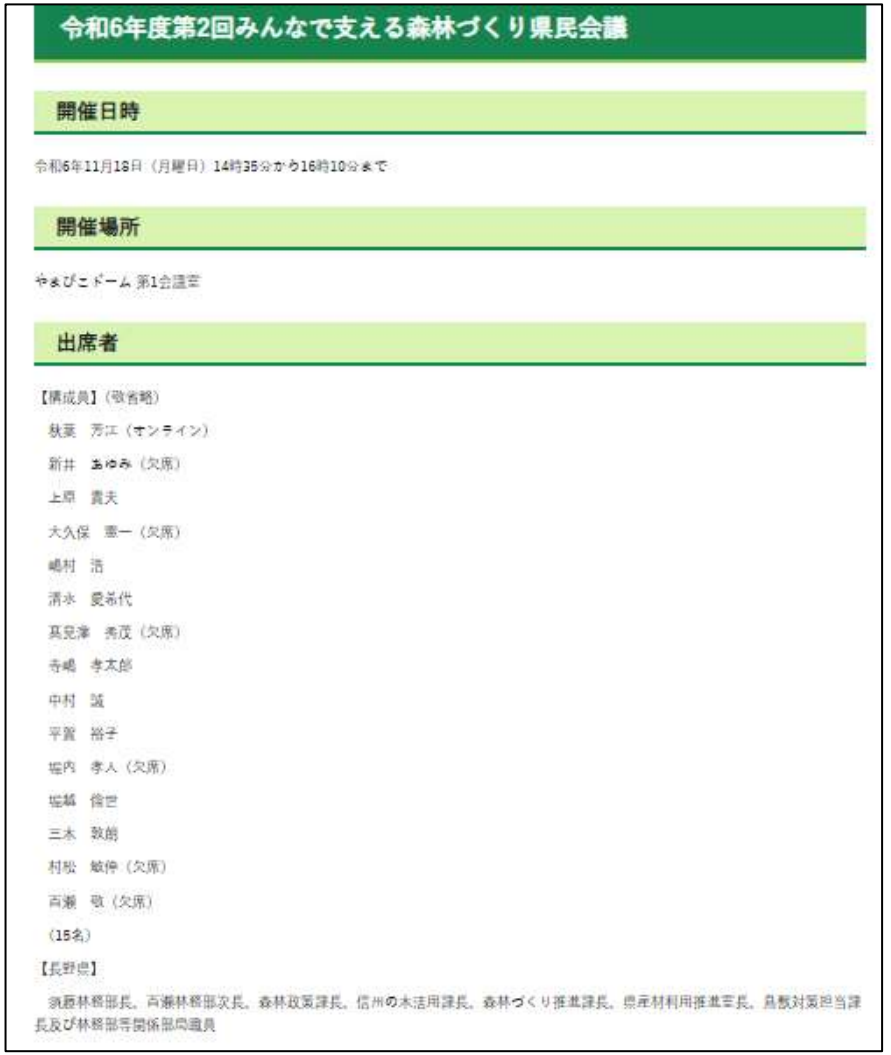
令和６年度　第２回県民会議の開催状況

１ 日時：第２回　令和6年11月18日（月）
２ 場所：山形村・塩尻市（やまびこドームほか）
３ 会議事項
(１)令和6年度森林づくり県民税活用事業の進捗状況
　　Ｒ６事業の進捗状況（９月末）
　　地域会議の開催状況（前回を更新）
　　林業就労者の育成と確保【別紙参照】
(２)森林づくり県民税に関する基本方針の一部改正（案）
　　【別紙参照】
４ 公開状況
　・資料等：県ホームページで公開済み
　・議事録：作成中

【県ホームページアドレス】

https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html

令和６年度　第２回県民会議の開催状況



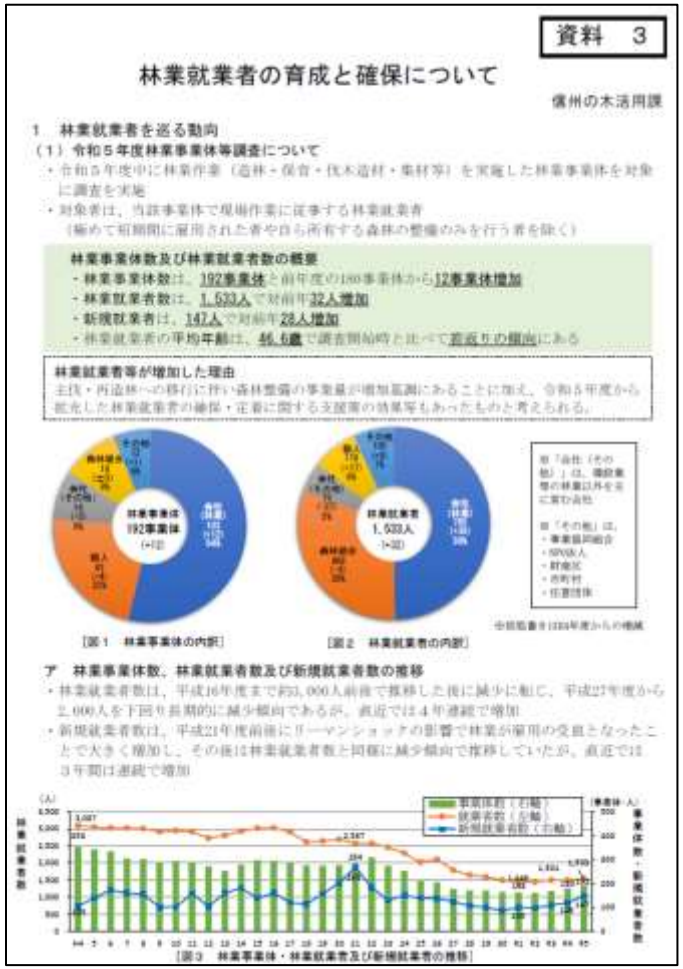
【県ホームページアドレス】

https://www.pref.nagano.lg.jp/rinsei/sangyo/ringyo/shisaku/model/kenmin/h26-01.html

令和６年度　第２回県民会議の開催状況

資料「林業就労者の育成と確保」の要約

- 長期的に減少傾向だが直近は1533人と４年連続増加
- 平均年齢が30年前より10歳以上若返った



資料　3

林業就業者の育成と確保について

信州の木活用課

1　林業就業者を巡る動向

（1）令和５年度林業事業体等調査について

・令和５年度中に林業作業（造林・保育・伐木造材・集材等）を実施した林業事業体を対象に調査を実施

・対象者は、当該事業体で現場作業に従事する林業就業者
（臨めて短期間に雇用された者や自ら所有する森林の整備のみを行う者を除く）

林業事業体数及び林業就業者数の概要

- 林業事業体数は、192事業体と前年度の180事業体から12事業体増加
- 林業就業者数は、1,533人で対前年32人増加
- 新規就業者は、147人で対前年28人増加
- 林業就業者の平均年齢は、46.6歳で調査開始時と比べて若返りの傾向にある

林業就業者等が増加した理由

主伐・再造林への移行に伴い森林整備の事業量が増加基調にあることに加え、令和５年度から拡充した林業就業者の確保・定着に関する支援策の効果等もあったものと考えられる。

［図１　林業事業体の内訳］　［図２　林業就業者の内訳］

※「会社（その他）」は、環境業等の林業以外を主に営む会社

※「その他」は、
・事業協同組合
・NPO法人
・財産区
・市町村
・任意団体

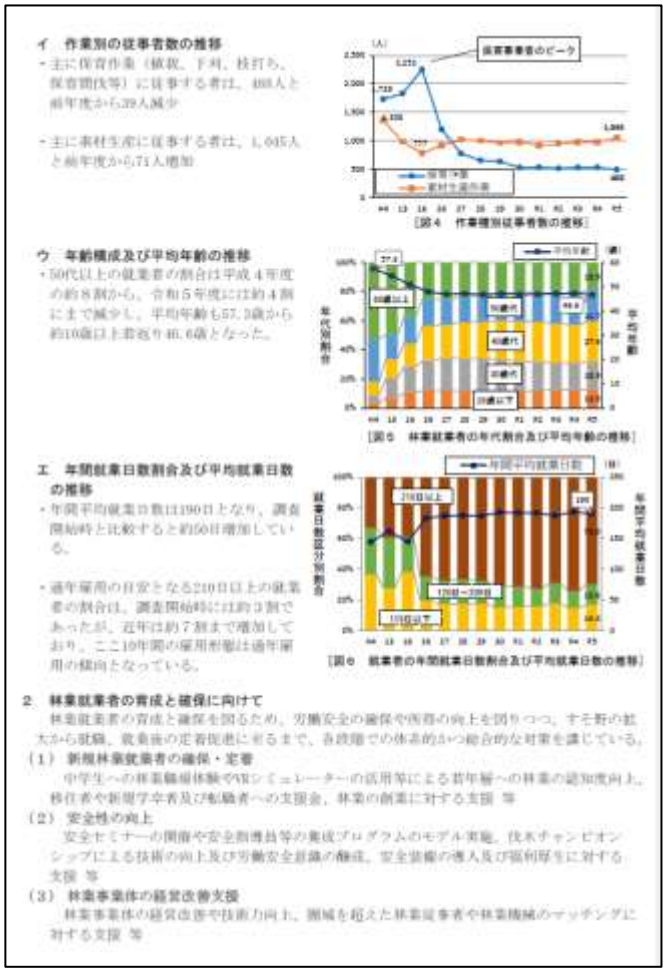
※令和５年３月末時点の情報

ア　林業事業体数、林業就業者数及び新規就業者数の推移

・林業就業者数は、平成16年度まで約3,000人前後で推移した後に減少に転じ、平成27年度から2,000人を下回り長期的に減少傾向であるが、直近では４年連続で増加

・新規就業者数は、平成21年度前後にリーマンショックの影響で林業が雇用の受皿となったことで大きく増加し、その後は林業就業者数と同様に減少傾向で推移していたが、直近では３年間は連続で増加

［図３　林業事業体・林業就業者及び新規就業者の推移］



イ　作業別の従事者数の推移

・主に保育作業（植栽、下刈、枝打ち、保育間伐等）に従事する者は、488人と前年度から39人減少

・主に素材生産に従事する者は、1,045人と前年度から71人増加

［図４　作業種別従事者数の推移］

ウ　年齢構成及び平均年齢の推移

・50代以上の就業者の割合は平成４年度の約８割から、令和５年度には約４割にまで減少し、平均年齢も57.3歳から約10歳以上若返り46.6歳となった。

［図５　林業就業者の年代別割合及び平均年齢の推移］

エ　年間就業日数割合及び平均就業日数の推移

・年間平均就業日数は190日となり、調査開始時と比較すると約50日増加している。

・通年雇用の目安となる210日以上の就業者の割合は、調査開始時には約３割であったが、近年は約７割まで増加しており、ここ10年間の雇用形態は通年雇用の傾向となっている。

［図６　就業者の年間就業日数割合及び平均就業日数の推移］

2　林業就業者の育成と確保に向けて

林業就業者の育成と確保を図るため、労働安全の確保や所得の向上を図りつつ、すそ野の拡大から就職、就業後の定着促進に至るまで、各段階での体系的かつ総合的な対策を講じている。

（1）新規林業就業者の確保・定着

中学生への林業職場体験やVRシミュレーターの活用等による若年層への林業の認知度向上、移住者や新規学卒者及び転職者への支援金、林業の創業に対する支援　等

（2）安全性の向上

安全セミナーの開催や安全指導員等の集成プログラムのモデル実施、伐木チャンピオンシップによる技術の向上及び労働安全意識の醸成、安全装備の導入及び福利厚生に対する支援　等

（3）林業事業体の経営改善支援

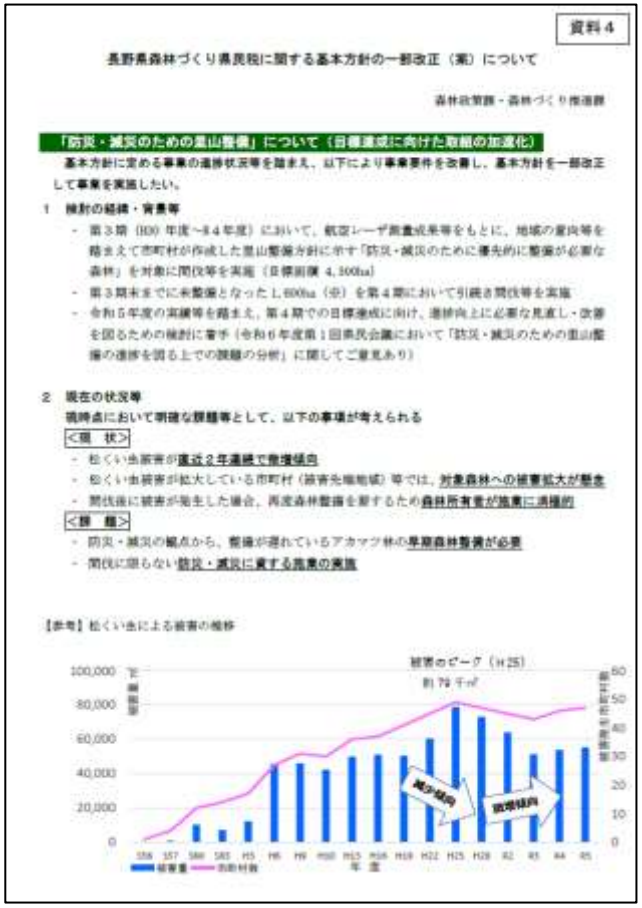
林業事業体の経営改善や技術力向上、領域を超えた林業従事者や林業機械のマッチングに対する支援　等

令和６年度　第２回県民会議の開催状況

資料「森林づくり県民税に関する基本方針の一部改正（案）」の要約

・松くい虫被害が2年連続で微増したが、被害森林の再造林に森林所有者が消極的

・防災・減災のため、第3期の執行残1.2億円を活用しアカマツ林を広葉樹等へ更新する取組に支援



資料４

長野県森林づくり県民税に関する基本方針の一部改正（案）について

森林政策課・森林づくり推進課

「防災・減災のための里山整備」について（目標達成に向けた取組の加速化）

基本方針に定める事業の進捗状況等を踏まえ、以下により事業要件を改善し、基本方針を一部改正して事業を実施したい。

1　検討の経緯・背景等

- 第３期（R3 年度～R４年度）において、航空レーザ測量成果等をもとに、地域の意向等を踏まえて市町村が作成した里山整備方針に示す「防災・減災のために優先的に整備が必要な森林」を対象に間伐等を実施（目標面積 4,300ha）
- 第３期末までに未整備となった1,600ha（※）を第４期において引続き間伐等を実施
- 令和５年度の実績等を踏まえ、第４期での目標達成に向け、進捗向上に必要な見直し・改善を図るための検討に着手（令和６年度第１回県民会議において「防災・減災のための里山整備の進捗を図る上での課題の分析」に関してご意見あり）

2　現在の状況等

現時点において明確な課題等として、以下の事項が考えられる

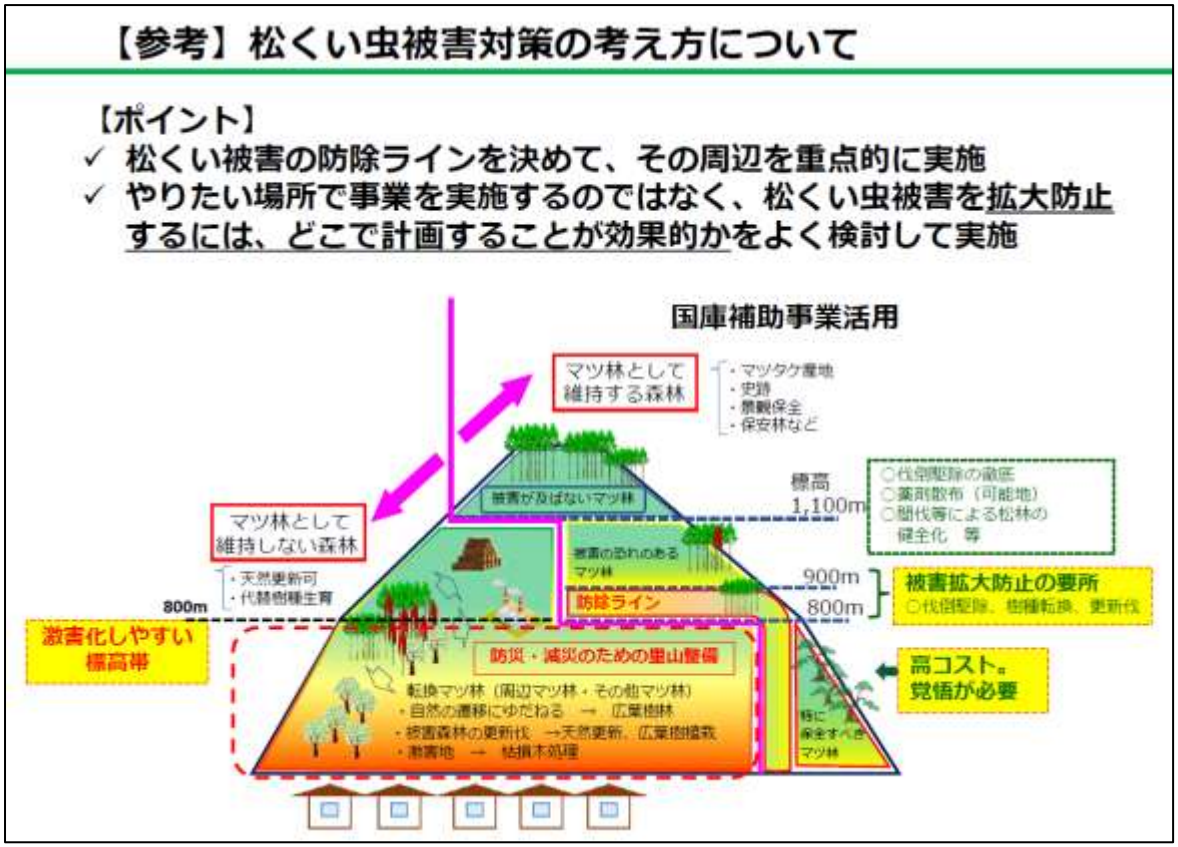
<現　状>

- 松くい虫被害が直近２年連続で微増傾向
- 松くい虫被害が拡大している市町村（被害先端地域）等では、対象森林への被害拡大が懸念
- 間伐後に被害が発生した場合、再度森林整備を要するため森林所有者が施業に消極的

<課　題>

- 防災・減災の観点から、整備が遅れているアカマツ林の早期森林整備が必要
- 間伐に頼らない防災・減災に資する施業の実施

【参考】松くい虫による被害の推移



令和７年度　森林税活用事業の予算案（県全体：速報）

第4期（令和5～9年度）　長野県森林づくり県民税の概要（再々掲）

取組の柱、内容	金額（億円）
Ⅰ　森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	**15.6**
・2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林を若い森林に更新する再造林を加速化（植林と初期保育に必要な標準的な経費を全額補助） ・防災・減災のために整備が必要な里山の間伐について、引き続きその整備を支援	
Ⅱ　森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	**6.8**
・地域住民が自ら整備・利活用に取り組んできた里山について、多くの県民等が利用できる「開かれた里山」としての仕組みづくりや整備等を支援 ・多くの方が利用する施設等について木造・木質化を推進 ・学校林や「信州やまほいく認定園」におけるフィールド整備を支援 ・まちなかの緑化や街路樹の整備などのグリーンインフラの整備を推進	
Ⅲ　森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援	**2.6**
・企業との連携による森林整備や、健康・教育・観光などに森林を活用する森林サービス産業に取り組む団体等の支援、森林セラピー・エコツーリズム等に携わる人材の育成など森林の多面的な利活用を支援 ・森林・林業に関わる人材の裾野拡大や、他産業との兼業など多様な林業の担い手の確保・育成を支援	
Ⅳ　市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	**9.0**
・第３期まで実施していた市町村毎の定額配分による森林づくり推進支援金については、森林環境譲与税との関係を整理したうえで、地域において必要度の高い事業に再編し、メニュー化して支援（支援内容：ライフライン等保全対策、河川沿いの支障木等伐採、観光地の景観や緩衝帯の整備、病害虫被害対策）	
Ⅴ　普及啓発、評価検証	**0.4**
合計	**34.4**

令和７年度の森林税事業　当初予算要求額

予算額　817,751千円（基金繰入金）
（令和６年度当初予算額：768,584千円）前年度比106.4%

単位：千円

基本方針の柱	令和７年度 当初予算額	令和６年度 当初予算額	増減額
Ⅰ森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	386,635	330,780	55,855
Ⅱ森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	156,186	153,162	3,024
Ⅲ森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援	59,022	60,766	△ 1,744
Ⅳ市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	208,780	215,350	△ 6,570
Ⅴ普及啓発、評価検証	7,128	8,526	△ 1,398
合　　計	817,751	768,584	49,167

令和７年度の森林税事業　主な事業（拡充等）

（１） 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の嵩上げ）等

主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林や初期保育に加えて作業の省力化、植栽木の食害対策等に対する支援

【後年に向け増加していく構想】

◆予算額244,860千円　（対前年＋70,280千円）

（２）木造化・木質化支援事業【拡充】

【広く県民が利用する施設等の木造・木質化】

民間施設等の木造・木質化等の支援、県有施設の木造・木質化等の推進

~~【建築物木材利用促進協定締結者に対する補助限度額を引上】~~

【CLT・耐火集成材・JAS材等を活用した不特定多数の方が利用する施設に対する補助上限額を引上げ】

◆予算額 59,900千円　（対前年+21,350千円）

（３）多様な林業の担い手確保育成事業【拡充】

林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援

【インターンシップ等の林業就業前体験受入れを対象に追加、体験者の交通費及び宿泊費等の支援　他】

◆予算額 20,768千円　（前年比+1,815千円）

上田地域の森林税活用事業実績及び計画１（再造林の加速化）

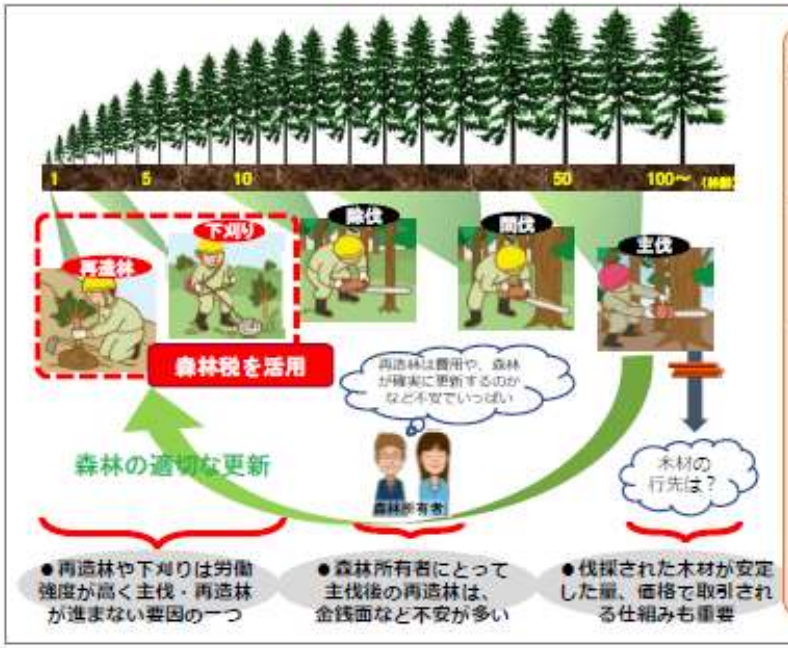
再造林（森林の若返り）の加速化（再掲）

目的：2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林の８割が50年生を超える本県の森林がCO2吸収機能を発揮できるよう、国庫補助事業と森林税を組み合わせて活用することにより、若い森林への更新を加速化

目指す姿：計画的な主伐・再造林により資源の循環利用を行う森林（地形や道路からの距離などの条件から算定した効率的な施業が可能な森林）を約10万haと想定し、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築
→　当面５年後（R9）の再造林面積を年間1,000haとする（10年後には年間1,250haへ）

- 長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援。併せて省力化・効率化等の取組を推進
  （推進する取組例：①造林の省力化・効率化の推進　②森林所有者との森林整備協定の締結　③地域材の安定供給のための取引協定の締結　④環境配慮の推進（生物多様性に配慮）　⑤獣害対策の推進（捕獲従事者と連携・協力したシカ捕獲の推進など）等）
- 森林税を活用し、５年間で概ね2,900haの再造林等を支援

○ **補助率等**
・補助率：10/10※　（国庫及び一財　7/10、森林税　3/10）　・森林税：11.3億円（５年間）　※標準的な経費に対する補助率



○　造林から主伐まで長期間を要する林業において、遅れている再造林を促進するためには、再造林等の初期段階における所有者負担軽減が重要
○　森林税を活用し、造林とその後の初期保育について重点的に支援することにより、森林所有者の負担軽減を図り、造林意欲を喚起

【植栽実績】		（見込み）
全　県	434ha	-
内森林税	247ha	-
上　田	97ha	78ha
内森林税	61ha	68ha

再造林（森林の若返り）の加速化　令和６年度森林税による嵩上げ（**実績**/計画（R7.1末時点））

市町村	事業主体	人工造林 地拵え	人工造林 植栽	下刈	獣害対策 水和剤	計
上田市	上田市東御市 真田共有 財産組合	**15.42** / 19.25	**13.77** / 19.25	**10.39** / 10.39	-	**39.58** / 48.89 ha
		264 / 337	**631** / 838	**92** / 87	-	**989** / 1,263 万円
	信州上小 森林組合	**7.51** / 17.28	**15.77** / 21.54	**49.99** / 53.16	-	**73.27** / 91.98 ha
		72 / 282	**453** / 651	**389** / 413	-	**915** / 1,347 万円
東御市		**2.70** / 2				**5.39** / 12.87 ha
		13 / 13	**75** / 75	**0** / 52	-	**88** / 141 万円
長和町		**17.46** / 30.72	**17.27** / 26.93	**12.22** / 12.97	-	**46.95** / 70.62 ha
		191 / 504	**484** / 740	**98** / 99	-	**773** / 1,344 万円
青木村		**16.66** / 28.11	**19.45** / 19.45	**26.37** / 22.41	**16.33** / 16.32	**78.81** / 86.29 ha
		145 / 412	**518** / 518	**207** / 178	**51** / 56	**922** / 1,165 万円
計	**2 者**	59.75 / 98.06	**68.95 / 89.86**	98.97 / 106.41	16.33 / 16.32	**244.00/310.65 ha**
		687 / 1,548	**2,163 / 2,822**	781 / 829	51 / 56	**3,690/5,255 万円**

下刈・獣害対策は概ね計画通り進むも、地拵え・植栽は計画比60%、76%と低調

※①面積、金額は森林税による嵩上げ分のみを記載、②金額は千円単位切捨てのため計と合わない、③東御市の森林組合分には祢津沢生産森林組合分を含む
④上田市は森林環境譲与税により植栽（密度試験）を実施

再造林（森林の若返り）の加速化　森林税による嵩上げ実績

信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)	① 県全体	② 上田地域	②／①
令和５年度	目標：260ha	実績：61ha	23.4%
	予算：9,360万円	実績：3,140万円	33.5%
令和6年度	目標：420ha	実績 ：68ha	16.1%
	予算：17,458万円	実績 ：3,690万円	21.1%

人工造林（植栽）@青木村長峯 信州上小森林組合施工

下刈 @上田市岩戸 信州上小森林組合施工

再造林（森林の若返り）の加速化　令和６年度上田地域の振り返り

・全体の植栽面積は78ha（見込み：前年比▲19ha）と停滞
森林税による植栽面積は68ha（前年比+7ha）と伸びるも計画比76%

（１）労務の確保

・森林組合職員の退職による労務の減、森林組合は対策として採用強化
・協力事業体について、春植えは確保できなかったが、秋植えは確保
※協力事業体の事業量：約*480*人･日：下刈*41ha*、地拵え*19ha*、植栽*15ha*

（２）スケジューリング

・労務者の減により、計画より実行スピードが鈍る
・協力事業体への依頼・契約の遅れが響く

（３）苗木の確保

・春植え苗木が全量確保できず、県外調達するも品質が悪く量も揃わず
・秋植え苗木は苗高40cm以上、根元径もしっかりした良質な苗木を確保

（４）予算の確保

・全県下で予算不足の懸念が発生し、事業の一部を翌年度に送るよう依頼
※再造林に係る予算は影響なし

再造林（森林の若返り）の加速化　今後の取組の方向性

・令和９年に上田管内で115ha、全県で1,000haの植栽には何が必要か？

事業量 ＝ 資本投下量（労務数×時間） × 生産性

← 構成因子の値をどう増やしていくか？

（１）資本投下量の増加

ア 労務数を増やす

・協力事業体とマッチング

※新たな協力事業体の発掘・育成

←各事業体の処遇改善も重要

イ 時間を増やす

・秋植えの推進（植栽日数の順増）

※R6実績 春：秋=55％：45％

（２）生産性の向上

ア 低密度植栽（並材生産）の導入

・普通林のカラマツに2,000本/ha植栽を導入

イ スケジュールの見直し

・秋植え・大苗植栽による下刈回数の減

※目標：２回以下（春植えも初年度の伸長成長が望める早期に実施）

・機械地拵えと連続した植栽

・下刈に早朝シフト導入

ウ 優良苗木の安定供給（県・山林種苗協会の取組）

・欲しい苗種と良質な苗木の安定供給

（良質：バランスの良い形状比と発達した根）

・並材生産に向けた大苗開発

上田地域の森林税活用事業実績及び計画２（市町村と連携した森林整備支援）

市町村と連携した森林等に関連する課題の解決
（市町村森林整備支援事業　令和６年度事業実績見込）

市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費（千円）	補助金額（千円）	事業量	単位	実施内容
上田市	上田市内全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	3,100	1,500	100	m3	松くい虫被害木の伐倒駆除等
上田市	上田市~~上丸子（~~下之郷~~）~~	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	3,681	2,500	96	m3	松くい虫被害枯損木のバイオマス利用
上田市	上田市丸子ほか	ライフライン等の保全整備	―	669	540	5	本	危険木の伐倒処理
東御市	西海野	ライフライン等の保全整備	―	857	720	14	本	危険木の伐倒処理
長和町	長久保(学者村地区)	ライフライン等の保全整備	―	1,062	945	25	本	危険木の伐倒処理
長和町	古町	ライフライン等の保全整備	―	1,230	1,080	20	本	危険木の伐倒処理
青木村	村松地区	ライフライン等の保全整備	―	1,250	1,125	35	本	危険木の伐倒処理
青木村	入田沢地区	ライフライン等の保全整備	―	1,180	1,062	22	本	危険木の伐倒処理
青木村	殿戸地区	ライフライン等の保全整備	―	1,310	689	35	m3	危険木の伐倒処理
合計				14,339	10,161			

Ｒ６実施状況

森林の病虫被害対策[枯損木の利活用]（上田市下之郷）

3月完成に向け
実施中

ライフライン等の保全整備（東御市 西海野）

3月完成に向け
実施中

Ｒ６実施状況

ライフライン等の保全整備（長和町古町）

3月完成に向け
実施中

ライフライン等の保全対策（青木村 村松・入田沢）

3月完成に向け
実施中

市町村と連携した森林等に関連する課題の解決
（市町村森林整備支援事業　令和７年度実施予定）

市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費（千円）	補助金額（千円）	事業量	単位	実施内容
上田市	市内全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	3,000	1,500	100	m3	被害木の伐倒処理
上田市	下之郷	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	2,000	1,800	100	m3	被害木の伐採・利活用
東御市	西海野	ライフライン等の保全整備	ー	800	720	13	m3	危険木の伐採
東御市	栗林	ライフライン等の保全整備	ー	1,000	900	30	m3	危険木の伐採
東御市	寺坂	ライフライン等の保全整備	ー	800	720	13	m3	危険木の伐採
長和町	学者村１期	ライフライン等の保全整備	ー	1,052	915	20	本	危険木の伐採
長和町	和田	ライフライン等の保全整備	ー	498	438	15	本	危険木の伐採
長和町	学者村３期	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	260	249	20	m3	被害木の伐倒処理
青木村	横手キャンプ場	観光地等の景観整備	ー	4,800	4,320	0.30	ha	景観整備
青木村	当郷地区第１配水場	ライフライン等の保全整備	―	900	810	22	本	危険木の伐採
青木村	田沢地区R143号沿線	ライフライン等の保全整備	―	2,500	2,250	50	本	危険木の伐採
青木村	沓掛地区丸子信州新線沿線	ライフライン等の保全整備	―	2,200	1,980	65	本	危険木の伐採
青木村	田沢地区修那羅峠沿線	ライフライン等の保全整備	―	2,000	1,800	50	本	危険木の伐採
合計				21,810	18,402			

※令和6年12月末時点の市町村要望箇所となります。

上田地域の森林税活用事業実績及び計画３

森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり
県民協働による里山整備・利用（開かれた里山）

県民が広く親しめる里山づくり
（県民協働による里山整備・利用事業　令和６年度事業実績）

市町村	地域名	事業主体	事業メニュー	事業費（千円）	補助金額（千円）	実施内容
上田市	飯沼	飯沼自治会　里山環境整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業（開かれた里山）	150	150	里山整備、きのこ生産等に必要なチェーンソー、刈払い機の燃料など
	〃	〃	里山資源利活用推進事業（開かれた里山）	491	368	里山公園手摺り設置のための資材
青木村	村松西	村松西地区里山整備利用推進協議会	里山整備利用地域活動推進事業（開かれた里山）	360	360	薪材生産、スギ林間伐実施に必要な安全作業・スキルアップ講習会、傷害保険、燃料費など
	〃	〃	里山資源利活用推進事業（開かれた里山）	68	50	スギ間伐を利用したログハウス調の倉庫設置に必要な機材
東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業（一般）	313	313	景観整備、きのこ生産等に必要な安全作業講習、燃料、簡易トイレレンタルなど
	〃	〃	里山資源利活用推進事業（一般）	320	240	チェーンソーなど機材を収納庫の設置など
上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスト倶楽部	里山整備利用地域活動推進事業（一般）	313	313	里山整備（カラマツ除伐、抵抗性アカマツ植栽、竹林整備）実施に必要なチェーンソー、刈払い機の燃料や竹用の替え刃などの消耗品
	〃	〃	里山資源利活用推進事業（一般）	733	504	チェーンソー、刈払い機
合計				2,748	2,298	

活動事例（鈴子緑のフォレスト倶楽部）

竹林整備

サクラ植樹

安全講習会

カラマツ除伐

環境整備（下刈り）

抵抗性アカマツ苗植樹

導入した機具等

活動事例（鈴子緑のフォレスト倶楽部）

事業名	実施内容
県民協働による里山整備・利用事業	森林整備等に必要な備品等の購入
みんなで支える里山整備事業	カラマツ林除伐
上田市　松くい虫対策・緑化木配布	抵抗性アカマツ苗木、松くい虫対策樹幹注入剤、サクラの苗木
上小林業振興会里山リフレッシュ事業	竹林整備

県民が広く親しめる里山づくり
（県民協働による里山整備・利用事業　令和７年度実施予定）

市町村	地域名	事業主体	事業メニュー	事業費（千円）	補助金額（千円）	実施内容
上田市	飯沼	飯沼自治会　里山環境整備プロジェクトチーム	里山資源利活用推進事業（開かれた里山）	510	382	里山公園整備に必要な資材
青木村	村松西	村松西地区里山整備利用推進協議会	里山資源利活用推進事業（開かれた里山）	134	100	里山の整備・利用に必要な資機材
東御市	和	和地区里山整備プロジェクトチーム	里山整備利用地域活動推進事業（一般）	500	500	里山の整備・利用に必要な燃料、消耗品等
	〃	〃	里山資源利活用推進事業（一般）	100	75	里山の整備・利用に必要な資機材
上田市	鈴子	鈴子緑のフォレスト倶楽部	里山整備利用地域活動推進事業（一般）	555	555	里山の整備・利用に必要な燃料、消耗品等
	〃	〃	里山資源利活用推進事業（一般）	828	621	里山の整備・利用に必要な資機材
合計				2,627	2,233	

その他（令和６年度のＰＲ）

森林税の広報（受託者募集）

〇県ホームページにおける公告（本庁）

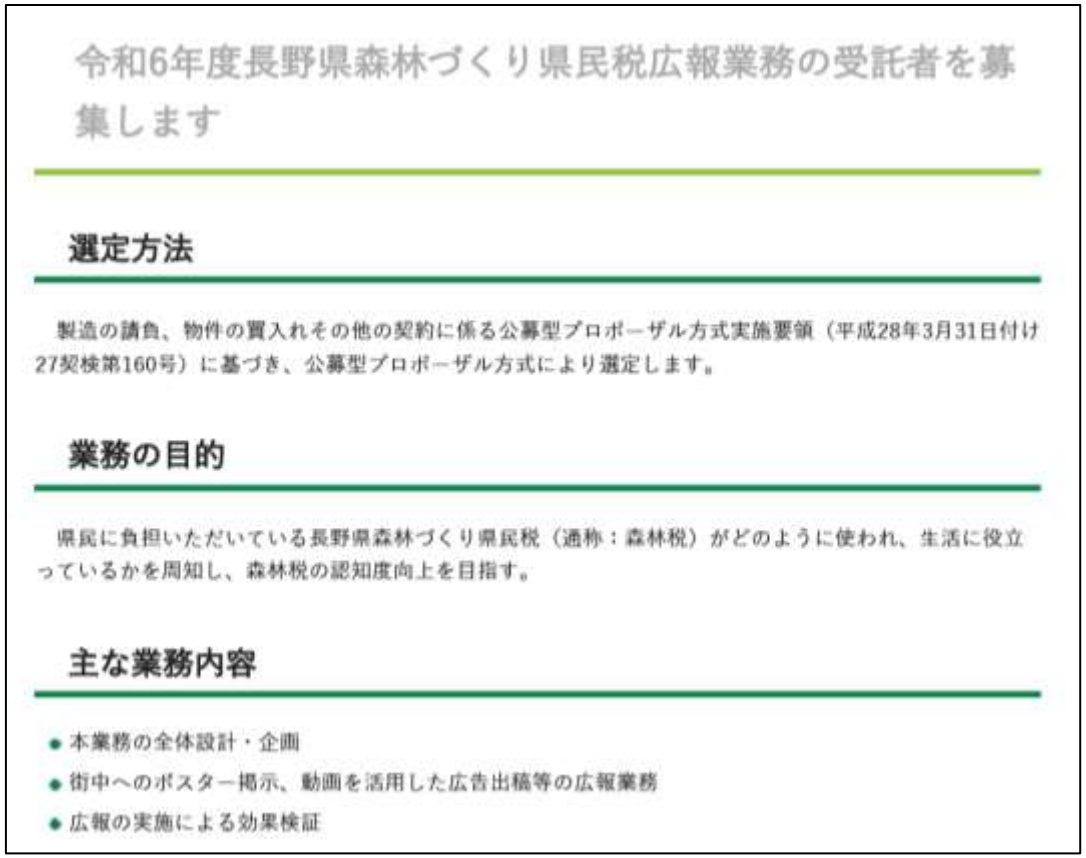
・公告日：令和６年11月8日
・方式：公募型プロポーザル方式
・委託上限額：1,125,000円
・履行期間：契約締結日から令和7年2月28日まで
・主な業務：全体設計・企画、街中へのポスター掲示、動画を活用した広告出稿等、広報の実施による効果検証

↓

【結果】

年末年始を中心に以下を実施

・主要駅へのポスター掲示
・SNS、YouTubeへの発信
・次年度に向けた企画ほか



令和6年度長野県森林づくり県民税広報業務の受託者を募集します

選定方法

製造の請負、物件の買入れその他の契約に係る公募型プロポーザル方式実施要領（平成28年3月31日付け27契検第160号）に基づき、公募型プロポーザル方式により選定します。

業務の目的

県民に負担いただいている長野県森林づくり県民税（通称：森林税）がどのように使われ、生活に役立っているかを周知し、森林税の認知度向上を目指す。

主な業務内容

- 本業務の全体設計・企画
- 街中へのポスター掲示、動画を活用した広告出稿等の広報業務
- 広報の実施による効果検証

森林税が取り上げられPRとなった事例

森林税が取り上げられPRとなった事例

森林税についての作文が「長野県東信県税事務所上田事業所長賞」として表彰されました。

（次ページ以降の作文は内部資料であるため、転載等をしないよう御留意ください）

（事務局注）
会議資料からp37～40(計4ページ)を削除した上でページ番号を振り直し、ホームページに掲載いたしました

2024年（令和６年）１１月１９日（火曜日）　信　州　民

上田税務署「税に関する作文の表彰」

日本税理士会連合会会長賞は古林さん

上田税務署（樋口政幸署長）は14日、「納税表彰式」および中学生・高校生から寄せられた「税に関する作文」優秀作品の表彰を上田市内ホテルで執り行った。作文の入選者は次の皆さん（敬称略）。

【中学生の税についての作文】▽日本税理士会連合会会長賞＝古林快士（屋代高校附属中2年）▽関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞＝田中杏奈（同中2年）▽上田税務署長賞＝山岸日和（同中2年）、山﨑遥（千曲市立戸倉上山田中3年）▽長野県租税教育推進協議会長賞＝小宮山晶太（上田市立塩田中3年）▽長野県東信県税事務所上田事業所長賞＝中村梨乃（上田市立第五中3年）、▽上田税務署協議会長賞＝青木麦季（上田市立塩田中3年）、岩澤真奈（千曲市立戸倉上山田中3年）、坂井宗介（同3年）▽上田市長賞＝宮原来愛（上田市立塩田中3年）▽千曲市長賞＝田中絵梨（屋代高校附属中2年）▽東御市長賞＝山本マリア（東御市立北御牧中3年）▽坂城町長賞＝池田早良（坂城町立坂城中3年）▽関東信越税理士会長野県支部連合会長賞＝依田結月（上田市立第五中3年）▽関東信越税理士会上田支部長賞＝室賀あかり（上田市立塩田中3年）▽上田地区納税貯蓄組合連合会長賞＝片山澪（上田市立第一中1年）、川上瑛菜（上田市立第三中3年）、大島美唯（上田市立真田中3年）、米田羽来（上田市立菅平中2年）、和久柚香（東御市立東部中3年）、石川有人夢（千曲市立屋代中3年）。

【高校生の税に関する作文】▽上田税務署長賞＝宮下瑠菜（上田千曲高1年）▽長野県租税教育推進協議会長賞＝木村葉月（同1年）▽上田地区税務協議会長賞＝神野兼希（同1年）▽上小・更埴租税教育推進協議会長賞＝平林尚真（屋代高1年）。

表彰状を受ける古林さん

作文を朗読する宮下さん

や畑体験
水消火体験

林業が取り上げられPRとなった事例

（3）2024年（令和6年）11月16日（土曜日）第1834号　週刊うえだ

講評

林業新聞

上田市　神川小学校4年2組　三橋　永愛（もな）さん

道の駅新聞

2024年（令和6年）11月16日（土曜日）第1834号

今週の特集

第25回
長野県こども新聞
コンクール

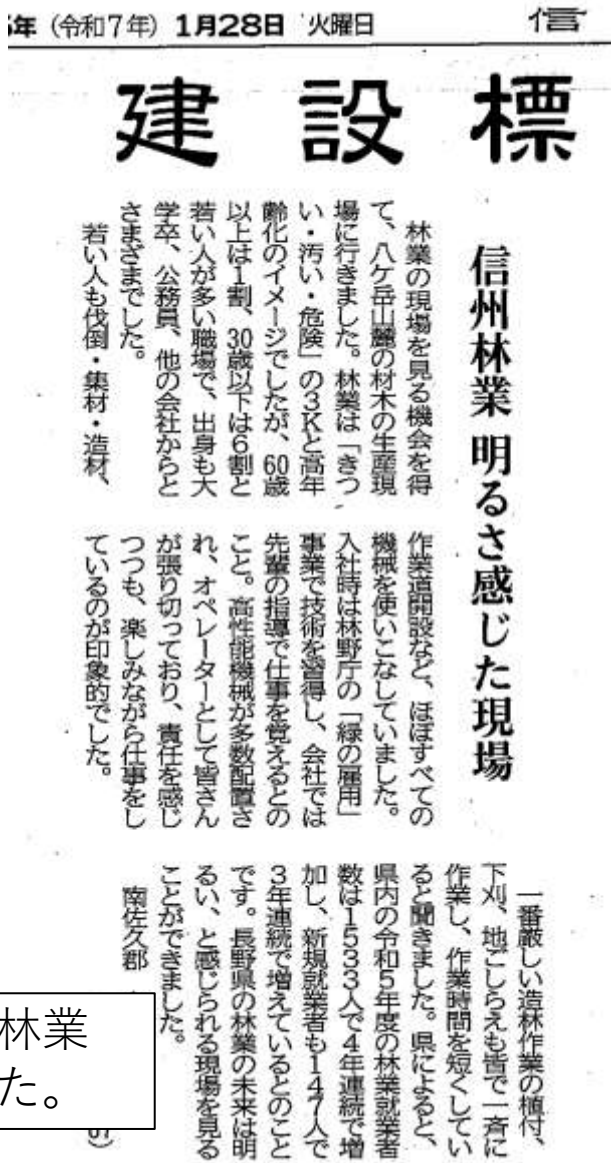
小学2～4年生の部

第25回長野県こども新聞コンクール（信濃毎日新聞社、信毎販売会主催）の東信地区審査会が9月に行われ、入選・入賞作品が決定しました。東信地区コンクールには、62の小学校から1059点の応募があり、審査の結果、入賞30点、入選60点を選びました。そのうち週刊うえだ配布エリアの入賞者14人の作品を今週号と30日号で、作品と講評も合わせて掲載します。

なお、第25回の入選・入賞作品は信濃毎日新聞デジタルで、後日更新されます。

「第25回長野県こども新聞コンクール」（信濃毎日新聞社等主催）に、『林業新聞』が入賞しました。
（週間うえだ掲載）

林業が取り上げられPRとなった事例



年（令和7年）1月28日 火曜日 信

建設標

信州林業 明るさ感じた現場

林業の現場を見る機会を得て、八ケ岳山麓の材木の生産現場に行きました。林業は「きつい・汚い・危険」の3Kと高年齢化のイメージでしたが、60歳以上は1割、30歳以下は6割と若い人が多い職場で、出身も大学卒、公務員、他の会社からとさまざまでした。

若い人も伐倒・集材・造材、作業道開設など、ほぼすべての機械を使いこなしていました。入社時は林野庁の「緑の雇用」事業で技術を習得し、会社では先輩の指導で仕事を覚えるとのこと。高性能機械が多数配置され、オペレーターとして皆さんが張り切っており、責任を感じつつも、楽しみながら仕事をしているのが印象的でした。

一番厳しい造林作業の植付、下刈、地ごしらえも皆で一斉に作業し、作業時間を短くしていると聞きました。県によると、県内の令和5年度の林業就業者数は1533人で4年連続で増加し、新規就業者も147人で3年連続で増えているとのことです。長野県の林業の未来は明るい、と感じられる現場を見ることができました。

南佐久郡

信濃毎日新聞「建設標」に林業についての投稿がありました。

将来の担い手に向けてPRを行った事例

しあわせ信州　信州の森林税　こどもまんなか　みんなでつくろう！こども・子育てに優しい信州

長野県（林務部）プレスリリース　令和6年（2024年）10月28日

【長野県森林づくり県民税活用事業】

令和６年度児童・生徒木工工作コンクール受賞作品の展示及び表彰式を行います

「令和６年度児童・生徒木工工作コンクール」において、県内の児童・生徒の皆様から、多くの作品をご応募いただきました。この度、受賞作品が決定しましたので、受賞作品の展示及び表彰式を次のとおり行います。ぜひご覧ください。

応募総数　3,511点

受賞作品　別紙のとおり

受賞の半数が上田地域

受賞作品の展示

展示期間：令和６年10月28日（月）～11月１日（金）

展示場所：長野県庁本館棟　１階玄関ホール

表彰式　令和６年11月30日（土）15時から　長野市エムウェーブ（大会議室）

・表彰式の取材を希望される場合は、予め長野県木材青壮年団体連合会事務局までご連絡ください。当日の進行や受賞者の情報等をご案内いたします。

《参考》令和６年度児童・生徒木工工作コンクールの概要

趣旨　子どもたちが木に触れあい、木を身近に感じ、愛着を持つことで、森林の大切さや役割等を学び、将来にわたり木の文化を育む担い手となってもらう

主催　長野県木材青壮年団体連合会

共催　長野県、中部森林管理局、（公財）長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

後援　長野県教育委員会、（一財）長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、ＮＨＫ長野放送局、ＳＢＣ信越放送、ＮＢＳ長野放送、ＴＳＢテレビ信州、ａｂｎ長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

備考　受賞作品は、10月９日（水）に長野県林業総合センターで開催された審査会で選定されました。

11月に主催者が受賞作品の中から上位数点を選定し、来年１月～３月に開催される全国審査会に推薦します。

別紙

令和６年度 児童・生徒木工工作コンクール　主な受賞作品（敬称略）

最優秀賞（長野県知事賞）

作品名　サケをつかまえるオオワシ
氏　名　柄澤　琉斗（小４）
学　校　上田市立豊殿小学校

作品名　世界平和の花～もしも砲弾やミサイルが花になったら～
氏　名　吉田　陽翔（小６）
学　校　茅野市立米沢小学校

作品名　上田城跡公園　東虎口櫓門
氏　名　白倉　大雅（中１）
学　校　東御市東部中学校

作品名　空とぶみらいの車いす
氏　名　赤羽　彪（小５）
学　校　安曇野市立豊科東小学校

賞　名	作品名	氏名（学年）	学校名
長野県教育委員会賞	思い出のつまった東小学校	坂本　卓己（小６）	佐久市立東小学校
中部森林管理局長賞	わしが　とんだ　イメージ	岡田　眞季（小１）	南木曽町立南木曽小学校
長野県緑の基金理事長賞	～自然界の神～「龍」	白倉　愛琉（小３）	東御市立滋野小学校
長野県木材協同組合連合会理事長賞	葉っぱ寿司	山口　泰生（小６）	上田市立神川小学校
長野県県産材振興対策協議会会長賞	四季の行燈	鈴木　咲世（小５）	佐久市立望月小学校
長野県木材青壮年団体連合会会長賞	ちょうちんあんこう	吉池　悠人（小４）	上田市立西小学校

ほか優秀賞10点、佳作410点、努力賞3,081点